



関西テレビ

+ フォローする

5.4K フォロワー



【速報】放課後デイで子どもを死亡させた罪 職員が起訴内容認める「ウソと隠ぺい続けている」と両親

関西テレビ によるストーリー • 10 時間 • 読み終わるまで 1 分



【速報】放課後デイで子どもを死亡させた罪 職員が起訴内容認める「ウソと隠ぺい続けている」と両親
© 関西テレビ

大阪府吹田市の放課後等デイサービス施設の職員の男が、男子中学生の送迎中に安全管理を怠り死亡させた罪についての裁判が始まりました。

■子どもが施設を飛び出し川で死亡 死亡させた罪に問われた被告「間違いないです」起訴内容認める

障害のある子どもが通う吹田市の放課後等デイサービス施設「アルプスの森」では、おとし12月、利用者で13歳の清水悠生さんが送迎の際に施設を飛び出して行方不明になり、川で死亡しました。

悠生さんは衝動的に動くことがあったため、送迎の際には2人の職員で対応すると決めていましたが、このときは1人だけで対応していました。

施設の運営会社の職員・宇津雅美被告（66）が、安全管理を怠り、悠生さんを死亡させた業務上過失致死の罪で起訴され、この罪についての裁判が4日に始まり、宇津被告は「間違いないです」と起訴内容を認めました。



ジャルパック

期間限定/タイムセール開催中

PR



検察側は「事故の前にも被害者がバスから飛び出し、川に飛び込む事案があり、被告は報告を受けていた」と指摘しました。

■「命に関わるウソをつくような人が福祉の世界に入ってほしくない」

裁判を前に、悠生さんの両親は次のように話していました。

【悠生さんの母】「ここまで行き着いたことに一生懸命関わってくれた人たちに感謝したい。どうして子どもが死んでしまったのか真実を明かしてほしい。二度とこのような事故が起きないように何が問題であったのか、どういうところが改善すべきところかということ、しっかりと施設側には出してほしい」

【悠生さんの父】「施設側はこれまでウソしかついていない。悠生が死んでしまったのもウソが原因ですし、前に同じような事故があった時に隠していた。悠生が命を落としてからもウソと隠ぺいが続いている。裁判でしっかりと真実が分かって二度とこのような命にかかわるウソをつくような人が福祉の世界に入ってほしくない。悠生は争いが嫌いな子だった。裁判で争うことを本当は望んでいないと思う。しかし悠生の命をないがしろにした施設を見過ごすわけにはいかない。悠生は望まないと思うけどパパたちはしっかり戦っていきたいと思ってるよと伝えてきました」

この事件では、会社の代表で宇津雅美被告の弟の宇津慎史被告（61）も逮捕されていましたが、大阪地方検察庁は不起訴としています。

一方、宇津雅美被告と慎史被告は、施設の利用者に暴行した罪などにも問われ、裁判が続いています。